

動画編集講座の構成

講座の流れ

坂本・岩田先生の話 15 分

マンツーマン 2 時間

最後に 15 分

○坂本・岩田先生の話

坂本→挨拶・講座内容を軽く説明

岩田先生→動画編集の役割・魅力(動画編集によって動画がどのように輝くのか)

○マンツーマン 2 時間

→基礎編

簡単な動画を用意し、何秒にどの動画？、どこでどのトランジションが使われているかを分析させ、構成を書き出してもらう

真似させる

→応用編(撮影)

→応用編(構成・編集)

○最後に

保存の手続き

坂本・岩田先生の話と挨拶

テキストの内容

カラー メイン:a3d8e3

サブ :メインのヒューチントシェード、009bbf

表紙(1 ページ)

→デザイン未定

目次(2 ページ)

→全部確定して作り終わってから作成

あいさつ(1 ページ)

→岩田先生からコメントをいただく

今日何を作るの？(1 ページ)

テキストの説明(3～5 ページ)

今日使うソフトを紹介(1 ページ)

→ソフトの概要

マウスホイールなど用語の説明(5～7 ページ)

→マウス、マウスホイール、コントロール Z、右クリック、左クリック、ダブルクリック、ドラッグ、マウスパッドなど

○基礎編(真似してみよう！)(10～13 ページ)

カット、トランジション、字幕、音楽っていうものがあるよ(5～8 ページ)

→写真使いながら説明

じゃあさっきの動画は何秒でどんな技術が使われていた？(1 ページ)

→構成の勉強、ある程度でいいからとにかくわかることを紙に書き出してみる

じゃあ真似してみよう！(1 ページ)

答え合わせ(3 ページ)

○応用編(自分で動画を作ってみよう！)(12 ページ)

事前に決めたテーマを確認(1 ページ)

どんな動画が作りたいか構成を考えよう

→紙必須

撮影してみよう(3 ページ)

→撮影のポイント・テクニック載せておく

撮影した素材をインポートしよう(3 ページ)

編集してみよう(5 ページ)

→使えるテクニックなどを載せておく

最後に Google のアカウントに保存(3 ページ)

最後に挨拶と感謝(1 ページ)

引用・クレジット(1 ページ)

○備考

マウスの使い方の紙を用意しておく